

Asian Rotorcraft Forum

2月27日 Convention Center

西川氏「日本のドクターヘリ3年で倍増へ」



アジアン・ロータークラフト・フォーラムを終えて、喜びの左からズッカロHAIプレジデント、プロアー会長、西川渉氏、中山智夫氏

表彰会 カトリック救助全員に イゴール・シコルスキー賞

Heiler Expodoo ヨン・インタナショナルのハイライトは2月27日夜(日AI)では、前年までに「Salute to Excellence」救助活動に活躍した人やチーム、いわゆる表彰晩餐ム、または長年にわたり運航、ン・カトリックにおける大災害の惨状が会場内4カ所に設置された大きな画面に映し出

今年は昨年より一つ増え13の賞が授与された。13全ての授賞のあと、今年のは例年と異なる行事が10時から行われた。それは、40数名が一斉に前列に整列し、厳粛な雰囲気の中、先のハリケー

カトリック救助に活躍された方々で、会場から大きな拍手が沸き起こった。

アジアン・ロータークラフトを主催として約60名が出席し、フォーラムにはマット・ズタが、うち約70%は日本人で、関心の高まりが窺えた。アジアン・ロータークラフト・フォーラムを主催として約60名が出席し、フォーラムにはマット・ズタが、うち約70%は日本人で、関心の高まりが窺えた。

また、病院ヘリ救急ネットワーク(HEM-Net)は救

アジアン・ロータークラフト・フォーラムが2月27日午前D17で開かれた。今年のテーマとスピーカーは、最初が「日本のドクターヘリの現状と将来」と題してHEM-Net理事の西川渉氏が、2つ目は昨年12月、中国の北京と上海で開催された中国ヘリコプター協会のフォーラムとラウンドテーブルに支援メンバーの団長として出席したヨロロビアン・エアクレイン社のジョアン・フランコ・プロアー会長兼CEOとITCエアロスペースの中山智夫社長の2人で、中国におけるヘリコプター運航の支援にアドバイスした内容などを発表した。

急ヘリの費用負担を医療保険ロイ・リサベジ氏は「西川氏は日本における救急ヘリコプターの今後の発展に注目で賄うべきなど6項目の提案を出項を紹介。さらにドクターヘリは今年1カ所(長崎)増設から今日に至るまで重要な役割を演じた」と発言し、会場全員で拍手を贈った。

中国ヘリ市場拡大へ
※プロアー氏同氏は中国の運航体制の整備を積極的に

航空局の方針のほか、ヘリ市場の現況を各セグメント別(①警察、②オフショア、③捜索救難、④HEMS、⑤送電線業務、⑥消防防災、⑦遊覧、⑧農業・林業、⑨VIP・コーポレート輸送)に細かく説明。中国は2008年北京で開催されるオリンピックおよび2010年に開催される世界博までにヘリコプターの運航体制の整備を積極的に



表彰晩さん会 中央壇上にHAIプレジデント

進める計画であり、21世紀に向けて中国のヘリコプターマーケットは飛躍的に拡大されるものと思われ、HAI、EHA(ヨーロッパヘリコプター協会)、日本のヘリコプ

ター関係者は今後支援して、中国が上海に建設を計画している新ヘリポートをはじめ各種ヘリコプター事業に協力することになろう、と述べた。